第24回秋田県障害者技能競技大会

「ビルクリーニング」競技課題 『事務所清掃』

1. 一般的な注意事項

- (1) 競技課題は、「事務所清掃」です。
- (2) 課題の時間は、10分です。
- (3) 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- (4) 競技採点は、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度(あいさつを特に重視します)、作業時間、作業準備・後片付けの5面から審査し、加点方式によって行われます。

<あいさつ例>

作業場所に最初に入室するとき……失礼しますと一礼し、入室する 作業中の作業場所出入り時……軽く会釈して出入りする 作業場所を最後に退室するとき……失礼しました等、一礼し、あいさつする

- (5) 作業に適した服装をして下さい。
- (6) 作業開始の指示(予告)は、進行が行います。「始めます。」「終わりました。」の申告は、競技者自身で行って下さい。
- (7) 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片付けて完了とします。
- (8) 残り2分のときにアナウンスします。

2. 床事務所清掃に関する一般的な注意事項

- (1) 作業面積は、1.6 m ($4 \approx 4 \approx$) の広さです。
- (2) 床面の掃き拭き・ダストクロス掛け及び水拭き・ゴミ処理・机上拭きの作業です。
- (3) 作業に使用する資機材・消耗品は、作業カート(台車) に載せてあります。
- (4) ラーグ(モップ房)とダストクロスは競技者自身でそれぞれハンドル(伸縮柄)に装着して下さい。
- (5) ハンドル(伸縮柄)は作業前に競技者自身で作業しやすい長さに調節して下さい。
- (6) ラーグ(モップ房)は作業前に競技者自身でモップ絞り器を使用して、水滴が落ちないよ うに固めに絞って下さい。
- (7) 幅木(木枠)の上には壁があるものとして作業を行って下さい。 <注意>作業者の身体や資機材を幅木(木枠)より外に出さないように注意しながら作業を して下さい。
- (8) 作業場所にある机は、移動させないで下さい。
- (9) 使用した資機材は、作業カートの指定された位置へ片付けて下さい。

3. 競技方法・競技会場の概略について

- (1) 競技時間 : 10分 (競技開始の予告~競技終了の申告まで)
- (2) 競技の内訳
 - ① 資機材の点検
 - ② 資機材の準備
 - ③ 競技開始の申告
 - ④ 作業準備
 - ⑤ 入室のあいさつ
 - ⑥ 椅子上げとゴミ処理
 - ⑦ 除塵(ダストクロスと小ぼうきを使った掃き作業)
 - ⑧ 水拭き (モップを使った拭き作業)
 - ⑨ 机上拭き

①と②は、競技時間(10分)には含まれませんが、 採点の対象になります。なお、競技進行の都合 上、①と②は合わせて**2分30秒を目安**に終了し てください。

- ⑩ 点検
- ⑪ 退室のあいさつ
- ② 資機材の片付け
- ⑬ 競技終了の申告(※全て終了できなかった場合は、競技時間終了の申告)
- (3)競技場の数 : 2面用意されています。(4)競技の方法 : 同時に競技を行います。

4. 競技場に用意されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
木枠(組立式 幅木)	$4\stackrel{\text{\tiny 3-}}{{}_{\hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} }}{4\stackrel{\text{\tiny 3-}}{{}_{\hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} }}{4\stackrel{\text{\tiny 3-}}{{}_{\hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} \hspace{-0.05cm} }}$	2組	
事務用 机		2台	各競技場に1台
事務用 椅子		2 脚	各競技場に1脚
事務室 ゴミ箱		2個	各競技場に1個
ゴミ袋	競技ゴミ箱用	2枚	各競技場に1枚
オガクズ (若干湿っています)		2袋	各競技場に1袋
作業カート		2台	各競技場に1台
作業標示板	両面板	2枚	各競技場に1枚
小ぼうき	3 0 0 🐧	2本	各競技場に1本
文化ちり取り		2個	各競技場に1個
ウエス (タオル)	無地・白色・綿製	4枚	各競技場に2枚
競技者用ゼッケン		14枚	各自1枚
ハンドル (伸縮柄)	1110 [₹] ŋ∼1180 [₹] ŋ	4本	各競技場に2本
ダストクロスホルダー(モップホルダー)	6 3 ^{t ×}	2個	各競技場に1個 ハンドルに装着済み
ダストクロス		2枚	各競技場に1枚
ラーグ(モップ房)	260g 白色 幅:約240ミリ、長さ:約210ミリ 【(株)テラモト ※縁は緑色 FXモップ替糸(J)260g	2枚	各競技場に1枚
モップ絞り器	・プロテック リンカ、ーヘット (品番: C289-1-000X-MB) (材質: スチールユニクロメッキ) ・プロテック リンカ、ータンク (品番: C289-2-000X-MB) (材質: ステンレス) ・プロテック リンカ、ーキャリー (品番: C289-3-000X-MB) (材質: スチールユニクロメッキ) ※全て山崎産業株式会社製	2台	各競技場に1台

5. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1 着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1 足	

<注意 1 > 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類の物を予備として持参することは、 差し支えありません。

6. 作業カートに用意されているもの

品 名	寸法又は規格	数量	備考
ゴミ袋 (競技ゴミ箱用)	スペア用	1枚	カート
作業標示板	両面板	1枚	カート
小ぼうき	3 0 0 🐧	1本	カート
文化ちり取り		1個	カート
ハンドル(伸縮柄)	1110∼1800 [₹] ŋ	2本	カート
ダストクロスホルダー (モップホルダー)	6 3 %	1個	カート
湿ったウエス (タオル)	無地・白色・綿製	1枚	カート
乾いたウエス (タオル)	無地・白色・綿製	1枚	カート
ラーグ(モップ房)	260g 白色 幅:約240ミリ、長さ:約210ミリ	1枚	カート

7. 競技(作業)の手順・仕様

(1) 資機材の点検・準備

作業工程	作業方法	補 足 事 項
(1)資機材の点検	①作業カートに資機材が準備され ているか点検する。	・異常があれば申し出る。
(2) 資機材の準備	①ラーグ(モップ房)とダストクロスをそれぞれハンドル(伸縮柄)に装着する。 ②ハンドル(伸縮柄)の長さを調節する。 ③ラーグはモップ絞り器を使用して、水滴が落ちないように固めに絞る。 ④作業カートの所定の位置に収める。	・資機材の準備終了後、審査 委員の指示に従い、競技(作 業)の準備に入る。
(3)作業の終了	作業が終了したら、スタート位置 に立って、一方の選手が終了する まで待機する。	・(1) (2) の作業は、3分を 目安に終了させること。

<注意2>作業帽の定めの無い職場・学校・一般の競技者は、野球帽のような帽子でも可とします。

(2) 競技(作業)の手順・仕様の詳細

(2) 競技(作業)の手順・ 作業工程		油 只 東 石
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	作業方法	補足事項
(競技開始の予告及び 計時開始)	進行係が「始めてください。」と 告げます。	・審査委員が告げる場合があります。
(3)競技開始の申告	名前を名乗り、「始めます」と挨 拶をしてから作業を開始する。	・競技開始を申告する。・片手を上げ、開始宣言を行う。・第一、第二競技場の選手二人がそろって同時に行う。
(4)作業準備	①作業カートを、保管場所から作業現場の近くに移動する。 ②作業標示板を立てる。	・作業がしやすく、迷惑のかからない場所に、作業カートを移動する。・作業場の外側を、廊下と想定します。
(5)入室のあいさつ	出入り口にて、室内に向かって入 室の挨拶を行う。	・失礼しますと一礼し、入室する。
(6) 椅子上げとゴミ処理	 ①椅子を机の上に上げる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋を、袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を、作業カートの袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペアを作業カートから取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。 	 ・机は動かさない。 ・椅子を机の四隅から、はみ出さないように正しく載せる。 ・ゴミ袋のまま入れる。中身は出さない。 ・ゴミ袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱を机の四隅からはみ出さないように正しく載せる。
(7)除塵を行う(掃き掃除)	 ①ダストを持ち、外から出入り口の内側の除塵を行う。 ②中に入り、幅木側、机の下、中央部の順番に除塵を行う。なお中央部は、机の後ろから、時計回りで進む。 ③前進しながら、ゴミを出口に向かって1カ所に集める。 ④ダストクロスヘッドを、ハンドル柄からはずす。 ⑤ダストクロスヘッドからダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスをはずし、ハンドとがストクロスを持つて室外に出る。 	 ・ゴミの上を歩かない。 ・モップ柄、小ぼうき、文化ちり取りは、機材が縦方向になるように持ち歩く。 ・幅木側は、反時計回りで。 ・中央部ではダストクロスのへッドを回しながら、ゴミを取り残さない。 ・机の下も点検を行う。

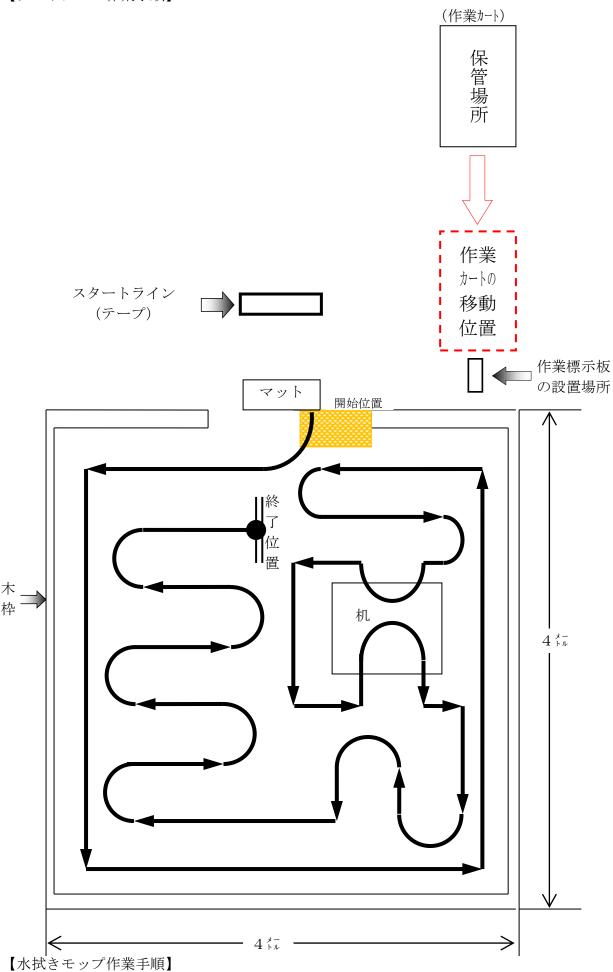
	⑥ダストクロスをカート袋に入れ、 ダストクロスヘッドをカート袋 の上に置き、ハンドルを所定の 位置に収める。⑦小ぼうきと文化ちり取りで、ゴミを取る。⑧ゴミの取り残しが無いか、点検を 行う。⑨小ぼうきと文化ちり取りを、作業 カートの所定の位置に収める。	
(8)水拭き (モップ)	 ①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りと机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは区画ごとに裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。 	・拭いたところを踏まない。・拭き残し、拭きむらのないようにする。・幅木、机の脚部に触れないようにする。・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。
(9) ゴミ箱と椅子をおろす	最初の位置にセットする。	・安全に音を立てないように おろす。・足の上に落とさないように 注意する。
(10)机上拭き	 ①湿ったウエスを利き手に持ち、乾燥したウエスを反対の手に持つ。 ②湿り拭きを行う。 ③ウエス(タオル)を持ち替える。 ④乾き拭きを行う。 ⑤ウエス(タオル)を、作業カートの所定の位置に収める。 	 ・ウエス(タオル)が汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・ウエスは八つ折りで使う。 ・机の後ろ側(椅子側)に立つ。 ・四隅を拭く(反時計回りで) ・横拭き(上→下へ) ・四隅を拭く(反時計回りで) ・縦拭き(右→左へ) ・四隅を拭く(反時計回りで) ・横拭き(上→下へ) ・四隅を拭く(反時計回りで) ・横拭き(右→左へ) ・巡隅を拭く(反時計回りで) ・縦拭き(右→左へ)
(11) 点検	①作業場に戻る。 ②指さし、または目視による点検 を行う。	
(12)退室のあいさつ	出入り口にて、室内に向かって 退 出の挨拶を行う。	

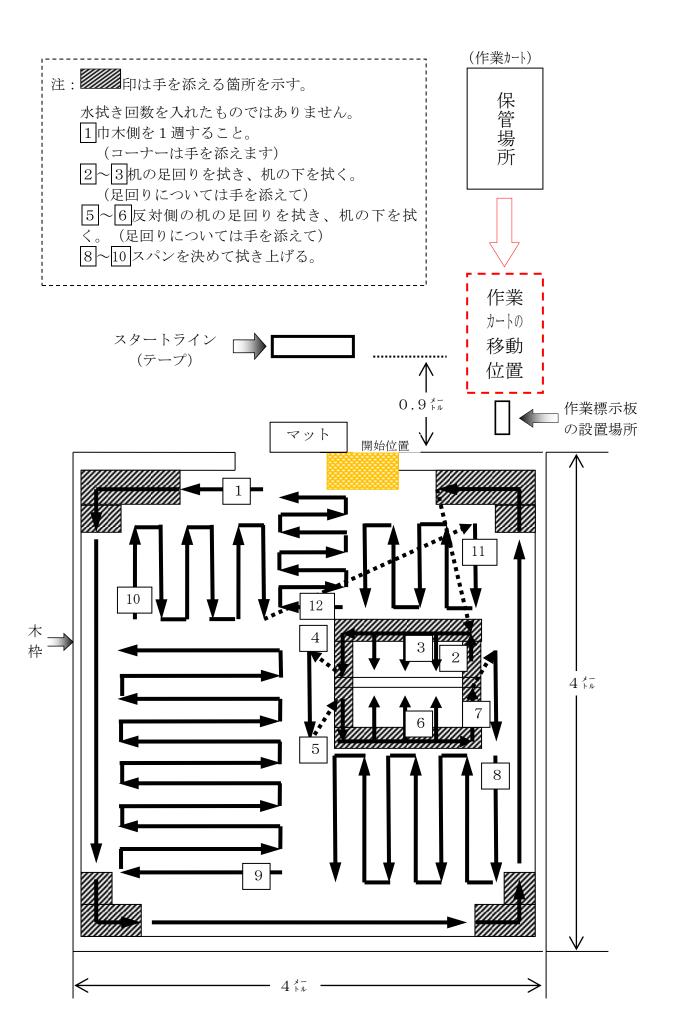
(13)資機材の片付け	①作業標示板を作業カートの所定 の位置に収める。 ②作業カートを保管場所に戻す。	
(14)競技終了の申告 (計時終了)	スタートラインに立って名前を名 乗り、「終わりました」と挨拶を 行い、作業を終了する。	・片手を上げ、競技(作業)終了 を申告する。
(競技終了後)	審査員の指示に従って下さい。	・補助員が誘導する場合があります。

8. その他注意事項

- (1) 競技中に、写真競技に参加している選手が、皆さんの競技中の様子などを撮影に来ることがあります。気にせず、競技に集中しましょう。
- (2) 自分の順番が来るまでの間、水分補給や屈伸運動などで、静かに席を外すことは構いません。自分の競技が終了した後も、同様です。

【ダストクロス作業手順】





【競技場の概略】

